

猛禽類

Western osprey / *Pandion haliaetus* / Misago / ミサゴ

大型の猛禽類のミサゴは体長 54～64cm で、夏は北海道やシベリアで繁殖し、冬に奄美大島などの南部の海岸で越冬する。上半身は濃い青みが帯びた茶色で、首と胸は白く、黒い線が目から首の後ろに走っている。魚を主な主食とし、獲物を狩る際は、通常の猛禽類とは逆向きの足、鼻孔の弁、防水機能が備わった羽を使い、素早く攻撃し、力強い翼で獲物を水面から引き釣り出す。美しい姿と、見事な狩の技術から、ミサゴは古来より好まれ、8 世紀の「日本書紀」にも登場する。

Gray-faced buzzard / *Butastur indicus* / Sashiba / サシバ

サシバは日本の主な島々で繁殖し、冬には奄美大島等の南部の地域に渡る。47～51cm の中型の鳥で、英名の Gray-faced（灰色の顔）とは異なり、頭と背中茶色で、喉は白く、腹は白と茶色の模様があり、目は鮮やかな黄色である。主に森林地帯と田園地帯に生息し、様々な爬虫類、両生類、昆虫、小型哺乳類、鳥類などを食す。世界ではよく見られる鳥だが、日本では減少しているため、危惧する研究者もいる。奄美大島ではサシバは電柱や電線に止まっているのをよく見かけられる。